

2022年7月22日
日本生命保険相互会社

英独間国際連系送電線プロジェクトへの融資について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、英国とドイツを結ぶ国際連系送電線の建設・維持管理に係るプロジェクト（以下「当プロジェクト」）を実施する NeuConnect Britain Ltd に対する、100 百万英ポンド（約 164 億円）のシンジケートローン（以下「当融資」）に調印しました。当融資はグリーンローンであり、当社はシンジケートローンの組成段階から参加します。

当プロジェクトは、英国東部とドイツ北部を結ぶ約 720km の高圧直流送電システムを構築し、両国間で電力を融通する送電事業であり、英独間で初の国際連系送電線プロジェクトです。当プロジェクトの完成により、両国の電力の安定的な確保に資することに加え、再生可能エネルギーのさらなる活用が見込まれる社会的意義の高いプロジェクトです。

また、当融資は、長期間にわたって魅力的な利回りの獲得が期待できることに加え、当社初の国際連系送電線プロジェクトへの取り組みとなります。

当社は、生命保険会社としての使命や公共性を踏まえ、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点から、ESG 投融資を強化しており、当融資もその一つと位置付けています。

今後も、持続可能な社会の実現への貢献と契約者利益の一層の拡大を目指し、ESG 投融資に取り組んでまいります。

<案件概要>

企業名	NeuConnect Britain Ltd 出資企業： Meridiam Investments 3 SAS : 53.5% Allianz Capital Partners : 26.2% KPIC Netherlands B.V. (関西電力グループ) : 18.3% FI1 Limited : 2.0%
調印日	2022年7月21日
当社融資額	100百万英ポンド (約164億円)

<施設概要>

所在地	英国東部、ドイツ北部、英独間海域
主要施設	海底送電線、交直変換所
建設予定距離	約720km
竣工	2028年3月 (予定)

<今回の案件と関係の深いSDGs目標>

目標7: エネルギーをみんなにそしてクリーンに

すべての人に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



目標9: 産業と技術革新の基盤をつくろう

強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る



以 上

2022-907G, 広報部